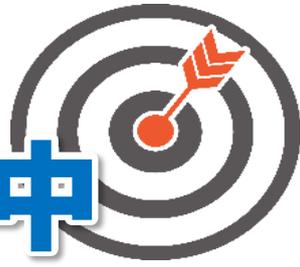


2026 ズバリ! 的中



世界史

同志社大学

東欧世界の成立・発展に関する空所補充問題が ズバリ的中

入試問題

2月10日実施 社会学部
大問II 設問1、設問2

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ
世界史 演習編 第10講 2

〔II〕 次の文章を読み、設問1、2に答えなさい。

現在ウクライナと呼ばれる地域では、さまざまな民族が盛衰した。古来、この地域にはスキタイ、フン人、アヴァール人などが侵入した。6世紀になると、スラヴ人が、かつてゲルマン人が住んでいた広大な地域に急速に広がった。東スラヴ人の一派とされるウクライナ人は、これらの民族がその後も混血を重ねながら形成されたと考えられている。(a)半島北部でも、7世紀にトルコ系遊牧民のブルガル人が侵入して建国したが、その後はスラヴ人に同化して定着した。

バルト海の近くでは、9世紀にノルマン人の一派である(b)が都市国家を建国した。さらに、その一派はドニエプル川を南下して(c)公国を建国し、スラヴ化していった。10世紀末、その君主(d)が周辺諸民族と戦って領土を広げた。また、ビザンツ皇帝の妹との結婚を条件にギリシア正教に改宗し、東スラヴ人諸公国の盟主となった。これに前後して、西スラヴ人のなかでも、ポーランド人が建国し、また(e)人はベーメン公(王)国を建てるなど自立の動きがみられた。非スラヴ系のマジャール人も(f)王国を建てた。ただし、ベーメン公(王)国は11世紀に神聖ローマ帝国に編入されている。

南スラヴ人のなかで最大の勢力のセルビア人も、はじめビザンツ帝国に服属していたが、12世紀に独立した。また、ビザンツ帝国に併合されていたブルガル人の国家も、再び独立した。同じ頃、東スラヴ人の住む地域では、農民の農奴化と貴族の大土地所有がすすみ、大土地所有者である諸侯が分立した。

13世紀にモンゴル人が東欧に侵入し、(g)の戦いで勝利を取め、キプチャク＝ハン国を建国した。東スラヴ人諸侯の一部は、以後200年以上にわたってモンゴル人の支配下にあった。

14世紀に、東スラヴ人諸侯のうち西側に勢力をもつ首長の家系が断絶すると、繁栄していた西スラヴ人のポーランドとその北のバルト系のリトアニアが相続権を主張して侵入し、この地域を二分した。北部を支配したリトアニアは東スラヴ人に同化していったが、西部を支配したポーランドはこの地域のポーランド化を進めた。また、リトアニア大公は、ポーランド女王と結婚して(h)朝リトアニア＝ポーランド王国をつくった。この時期に、セルビア人の国家も強国になった。同じ南スラヴ人の(i)人はフランク王国の影響下でローマ＝カトリックを受け入れた。しかし、南スラヴ人の大半は、14世紀末以降にオスマン帝国の支配下におかれるようになり、ブルガル人の国家もオスマン帝国に併合された。

15世紀になると、(j)大公国が急速に勢力をのばして東北ロシアを統一し、1480年にモンゴル支配から脱して、さらに、ローマ帝国の後継者を自任した。また、ポーランド人の国家も、もっとも強大になった。東スラヴ人諸侯国はこのような外部の勢力に分割され、西部はポーランドが、北部・中央部はリトアニアが、南部にはモンゴル系のムスリム国家が残り、東部は(k)大公国に支配されるようになった。これらの勢力が接する地域は王権の支配が弱く、支配から逃れた人々が武装し、コサックという自治的な共同体を形成した。

【2】 東ヨーロッパ世界

スラヴ人は、カルパティア山脈の北方を原住地とし、6世紀以降ビザンツ帝国北側の広大な地域に拡大して活動を活発化した。

西スラヴ人の(1)人は10世紀にカトリックに改宗し、(1)王国を建設した。東方植民によってバルト海南東岸に進出したドイツ騎士団に対抗するため、(1)王国は14世紀末にリトアニア大公国と合体して(2)朝を成立させ、東ヨーロッパの強国となった。同じく西スラヴ人に属する(3)人もカトリックに改宗し、9世紀にモラヴィア王国を建て、10世紀にベーメン(ボヘミア)王国を建てたが、モラヴィア王国は(4)人に征服され、ベーメン王国は11世紀に神聖ローマ帝国に編入された。

南スラヴ人の(5)人は、ビザンツ帝国の支配下にはいて、ギリシア正教を受容したが、12世紀には独立し、14世紀前半にはバルカン半島北部を制圧した。これに対して、同じ南スラヴ人のクロアチア人・スロヴェニア人は、フランク王国の影響下でカトリックを受容した。しかし、南スラヴ人の大半は、14世紀末以降オスマン帝国に服属することになった。

東スラヴ人のロシア人やウクライナ人は、ドニエプル川中流域に展開した。彼らの居住地には、ノルマン人の一派であるルーシ(ルス)が9世紀に進出し、(6)国、その南に(7)公国を建国したが、ともにまもなくスラヴ化した。(7)公国は、10世紀末の(8)のとき最盛期を迎え、彼はビザンツ帝国に接近してギリシア正教に改宗してこれを国教とした。その後、農民の農奴化が進展し、大土地所有者である諸侯が分立したことによって国内は分裂していった。13世紀になると、モンゴル人が侵入して(7)公以下の諸侯はこれに屈服した。南ロシアに(9)国が成立したのちは、「タタールのくびき」と呼ばれる約240年におよぶモンゴルの支配に服することになった。

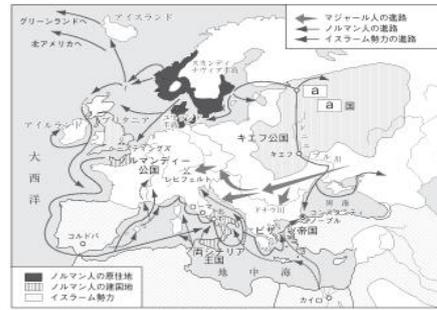
15世紀に入るとモスクワが商業の中心として発達し、やがてモスクワ大公国の大公(10)は1480年に(9)国の支配から自立した。彼は最後のビザンツ皇帝の姪と結婚して(11)(皇帝)を名をとり、ビザンツ帝国の後継者をもって任じた。1453年にビザンツ帝国が滅亡すると、ギリシア正教の中心はモスクワに移り、この地ではロシア正教として発展していった。彼の孫(12)の時代には、ロシアは(1)に代わる東ヨーロッパの大勢力となり、モスクワは「第3のローマ」「(第2のコンスタンティノープル)」と呼ばれるようになった。また(12)は(11)の称号を正式に用い、貴族をおさえて専制政治の基礎を固めた。さらに(12)は領土を南ロシアに広げ、コサックの首長(13)が占領したシベリアの一部も領土に組み入れ、アジアへも進出をはじめた。

16世紀に、ロシアは専制政治の基礎を固め、また、南に領土を広げ、コサックに命じて（ g ）にも進出した。ポーランドでは、王朝が断絶したのちに実施された（ オ ）のもとで貴族が対立し、政治が混乱した。このような状況のなかで、コサックは、ときにはリトアニア＝ポーランドの軍人として、ときには独自に、あるいは他国の傭兵として戦争に参加しながら、自治権を守った。しかし、貴族としての特権を認められず、リトアニア＝ポーランドに対して反乱もおこした。

コサックは、ペーメン（ボヘミア）の宗教的対立から始まった（ h ）戦争にも傭兵として参加した。一方、この戦争の終わった1648年に始まったコサックの反乱は、リトアニア＝ポーランドに対する独立戦争、そして内戦へと発展し、最終的に、リトアニア＝ポーランド領内のコサックは、リトアニア＝ポーランドに従う勢力と、ロシアの保護下に入る勢力に分かれた。リトアニア＝ポーランドではポーランド化が進められ、コサックの自治制が廃止されたが、ロシアはコサック国家の自治を認めた。（ i ）の農民反乱が鎮圧されたのち、帝位についたピョートル1世は、西欧諸国を模範に改革を進めた。また、清と（ カ ）条約を結んで、国境を画定した。さらに、（ j ）のカルル12世が若くして即位すると、ピョートルは戦争をおこした。戦況は最初ロシアが劣勢で、一部のコサックはロシアによる支配から脱するためにカルル12世に寝返った。しかし、その後、ロシアが態勢をたて直して勝利し、コサックはこの造反を口実としてロシアに徐々に自治権を剥奪されていくことになった。

エカチェリーナ2世はピョートルの事業を受け継ぎ、南方ではオスマン帝国に従っていたモンゴル人から（ キ ）半島を奪い、東方にも進出して日本にも（ k ）を派遣した。また、強国となったロシアは、さまざまな争いにも関わった。オーストリアは、プロイセンに対抗するために、長年敵対関係にあったフランスと同盟したが、ロシアもこれに味方した。また、オーストリアのヨーゼフ2世は（ l ）解放などの改革を試みた。アメリカ独立戦争では、エカチェリーナ2世が提唱して（ ク ）を結成し、間接的に独立をたすけた。1772年、ロシアは、プロイセン、オーストリアとともにそれぞれの国境に近いポーランドの領土を奪い、1793年にはプロイセンと第2回の分割を強行した。それに対抗し、（ m ）が義勇軍を率いて武装闘争を行ったが敗北し、1795年には残った領土も3国に分割され、オーストリア領となった最西部を除いて、かつての東スラヴ人諸侯国のほぼ全域をロシアが支配した。

非スラヴ系諸民族では、（ 14 ）人が7世紀にバルカン半島北部でブルガリア王国を建国し、その後スラヴ化してギリシア正教に改宗した。一時ビザンツ帝国に併合されたのち独立を回復したが、14世紀にオスマン帝国に併合された。10世紀末にハンガリー王国を建国してカトリックを受け入れたウラル語系の（ 4 ）人も、16世紀にオスマン帝国に併合された。ローマ帝国時代にダキアに定住し、14世紀にはワラキア公国とモルダヴィア公国を建国し、ギリシア正教を受容していたラテン系の（ 15 ）人も、15世紀にオスマン帝国の支配下に入った。



9～12世紀のヨーロッパ

a 国…9世紀半ば、リューリクが建国

設問1（ a ）～（ m ）に入る最も適切な語句を次の語群から選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------|
| 1. イタリア | 2. イベリア | 3. ヴァレンシユタイン |
| 4. ヴァンデー | 5. ウズベク | 6. エストニア |
| 7. エトルリア | 8. カトリック教徒 | |
| 9. クロアチア（クロアチア） | 10. 黒人 | |
| 11. コシユーシコ（コシチユーシコ） | 12. 三十年 | |
| 13. 七年 | 14. シチリア | 15. シベリア |
| 16. シュマルカルデン | 17. 女性 | 18. シリア |
| 19. スウェーデン | 20. ステンカ＝ラーズン | |
| 21. スロヴァキア | 22. ソンガイ | 23. チェック（チェコ） |
| 24. テイトー | 25. デーン | 26. デンマーク |
| 27. ナポリ | 28. ニコポリス | 29. 農奴 |
| 30. ノルウェー | 31. パーニーバット | 32. バルカン |
| 33. ハンガリー | 34. 東ゴート | 35. ピニョー |
| 36. 百年 | 37. フィンランド | 38. フェニキア |
| 39. プガチョフ | 40. フス派 | 41. ブラッシー |
| 42. プラノ＝カルピニ | 43. フランク | 44. マケドニア |
| 45. マリ | 46. ユカタン | 47. ラクスマン |
| 48. ラトヴィア | 49. ラ＝ファイエット | 50. ルーシ（ルス） |
| 51. ルブルック | 52. ワールシユタット | |

設問2 空欄（ ア ）～（ ク ）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。なお（ エ ）と（ キ ）はカタカナ4文字で、（ オ ）は漢字4文字で答えなさい。